

塘研究室現地調査報告

8月10日に塘研究室4年生の角田真琴さんと塘が磐梯山にてアザミウマ類のサンプリングを実施しました。これは近日中に予定している七ヶ岳（福島県南会津町、標高約1636m）でのアザミウマ類のサンプリングのための準備を兼ねた調査でした。

山岳域のイネ科植物を寄主とするアザミウマ類、*Thrips*属の一種の遺伝的多様性解明を卒業研究のテーマにしている角田さんは、まだ遺伝子解析用のサンプルがない七ヶ岳産のサンプルを入手するための調査を近日中に予定しています（七ヶ岳に本種が分布していることは塘研究室の修了生の志賀澄歌さんによって明らかになっています）。そこで、調査登山とアザミウマ類のサンプリングの経験のない角田さんの練習を兼ねて、磐梯山で調査登山を実施しました。磐梯山を選んだ理由は、磐梯山では本種が他の山岳域とはやや異なる植物を寄主として利用しているからです：本種はその生息地のほとんどでノガリヤス類（ヒメノガリヤス、ヒゲノガリヤス、タカネノガリヤス）を寄主として利用していますが、磐梯山ではノガリヤス類の他に、タカネコウボウとハルヨシも寄主として利用しています。

好天の中、8:30頃に八方台登山口を出発し、10:00少し前に弘法清水（標高約1628m）に到着、10:30には頂上に到着しました。頂上は薄いガスに覆われていましたが、猪苗代平野や猪苗代湖も時々見えました。11:00少し過ぎに弘法清水まで戻り、サンプリングを開始しました。その後、昼食を食べ、お花畑と弘法清水への分岐部（標高約1601）付近でもう一度サンプリングをした後、13:00少し過ぎには下山を開始しました。八方台登山口には14:30頃に到着しました。

目的のアザミウマも無事に採集できました。寄主植物の正確な同定はまだですが、現地で見ただけでは弘法清水でも分岐部でもタカネコウボウではないかと思えます。これで練習は終わりましたので、次はいよいよ七ヶ岳でのサンプリングです。



弘法清水（標高約1628m）到着



頂上（標高約1819m）到着



弘法清水付近でのアザミウマ類の採集



弘法清水付近で *Thrips* 属の一種が寄主として利用するイネ科植物